

令和5年度 音楽科 年間指導計画 第3学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	題材名	時数	題材の目標	他教科等との関連
前期	4	1.音楽で心をつなげよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりに気付き、自然で無理のない声で歌ったり友達とリズムをつなげて演奏したりする技能を身に付ける。 ・歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や、手拍子のリズムの選び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 ・友達と声を合わせて歌ったり、手拍子のリズムをつなげたりする学習に進んで取り組み、友達と協働して音楽活動する楽しさを味わう。 	特別活動
	5	2.歌って音の高さをかんじとろう	6	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律や音階などと曲想との関わりに気付き、八長調の楽譜を見て演奏したり呼吸や発音の仕方に気を付けて歌ったりする技能や、即興的に旋律をつくる技能を身に付ける。 ・八長調の読譜を習得したり旋律の特徴を生かしたりしながら、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 ・友達と一緒に声や音を合わせて表現したり聴き合ったりしながら、音の高さを感じて表現する学習に進んで取り組む。 	
		茶つみ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の感じを生かして歌う。 	
	6	3.リコーダーのひびきをかんじとろう	6	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの音色などと曲想との関わりに気付き、リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付ける。 ・リコーダーの演奏に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、リコーダーの響きと曲想との関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ・リコーダーの演奏に興味・関心をもち、互いの音を聞き合いながら演奏する学習に進んで取り組む。 	
	7	4.拍にのってリズムをかんじとろう	5	<ul style="list-style-type: none"> ・拍子やリズムの特徴などと曲想との関わりに気付き、拍にのって表現する技能や、反復や変化を用いてまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。 ・拍子やリズム、旋律の特徴を捉えた表現や、どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて、思いや意図をもつ。 ・拍子やリズムの特徴が生み出すよさや面白さを感じ取り、それらを生かして表現したり、友達と協働してまとまりのあるリズムをつくったりする学習に進んで取り組む。 	
	8・9・10	うさぎ 5.せんりつのとくちょうをかんじとろう	1 7	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる曲の雰囲気を感じ取って歌う。 ・音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴、拍子や強弱と曲想との関わりに気付き、それらを生かすために必要な表現の技能を身に付ける。 ・旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて考え、声の強さや出し方を工夫したりフレーズを意識したりしながら、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 ・旋律の特徴を生かした表現を工夫しながら、友達と協働して表現する学習に進んで取り組む。 	
後期	10	6.曲のかんじを生かさう	6	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、旋律や歌詞の内容と曲想との関わりに気付き、それらを生かして表現するための技能を身に付ける。 ・楽器の音色、旋律の反復や変化が生み出す曲のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴を捉えた表現について思いや意図をもったりする。 ・楽器の音色、旋律の反復や変化が生み出す曲想の違いを味わって聴いたり、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫して歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組む。 	特別活動
	11・12	7.いろいろな音のひびきをかんじとろう	9	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色やその組合せ、旋律の特徴などと曲想との関わりに気付き、楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聞き合いながら演奏したり、楽器の組合せや音の重ね方を生かして音楽をつくったりする技能を身に付ける。 ・楽器の音色や旋律の特徴が生み出すよさなどを見いだしながら聴いたり、楽器の音色を生かした演奏の仕方や、音の重ね方や反復など音楽の仕組みを用いた音楽のつくり方について、思いや意図をもったりする。 ・楽器の音色や旋律の特徴に着目し、曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたり、楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聞き合いながら演奏したり、楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったりする学習に進んで取り組む。 	
	1	8.ちいきにつたわる音楽でつながろう	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の楽器の音色やリズムなどと曲想との関わりに気付き、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付ける。 ・日本の楽器の音色やリズムなどの特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を聴いたり、旋律の音の動きや始め・終わりの音に着目した旋律のつくり方について思いや意図をもったりする。 ・祭り囃子を聴いたり、友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して、郷土に伝わる音楽や楽器の音への興味・関心を高める。 	社会科
	2・3	9.音の重なりをかんじて合わせよう 国歌・校歌	11	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の重なりや特徴、強弱、フレーズなどと曲想との関わりに気付き、それらを生かした歌い方や演奏の仕方の技能を身に付ける。 ・旋律の重なりや特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、旋律の反復やその重なりが生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ・友達と声や音を合わせて表現の仕方を工夫したり、旋律が重なり合うよさなどを感じて聴いたりする学習に進んで取り組む。 ・歌詞や楽譜を見て覚え、国家「君が代」を歌う。 	特別活動
年間指導計画			60		